



誤飲・誤食に注意！！



立秋とは名ばかりの酷暑が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。動物病院への来院理由は様々ですが、季節を問わず多くみられるのが異物の誤食です。今回は誤飲・誤食についてのお話です。わんちゃんねこちゃんの命にも関わることがあるため、オーナー様はぜひご一読ください。

<異物の誤飲誤食>

動物病院で言われる“**異物**”とは、わんちゃんねこちゃんが食べてはいけないものから、私たちが普段口にする食品まで様々です。異物は大きく2つに分けることができます。



①消化できないもの・食べ物ではないもの



おもちゃやペットシート、タオル、石、針など動物が**消化・吸収できないもの**は食べてはいけません。これらは食べた子の体格や食べたもののサイズ・形などによっては胃や腸管に詰まったり、臓器を傷つけたりするおそれがあるため注意が必要です。

鳥の骨

⇒縦に裂けやすく喉や消化管を傷つけやすい

②中毒を起こすもの

キシリトール入りガムの過食
⇒血糖値の低下、嘔吐、下痢

中毒を起こすものは多種多様です。有毒な植物や除草剤などの薬品、人用の薬などが中毒をおこします。しかし、実際の誤食例として多いのは私たちの生活により身近な“**人の食べ物**”です。タマネギやアボカドといった野菜、生の肉や豆、香辛料など人の食べ物でも中毒は発生します。



フドウ、干しフドウ
⇒腎不全



タバコ
⇒嘔吐、めまい

< 誤食するとなにが起こる？ >



消化する事の出来ない異物を飲み込んだ場合、多くは**物理的な障害**を伴います。異物が大きいものも詰まる危険がありますが、**小さいものでも油断はできません**。胃から腸管へかろうじて入る大きさの異物の場合、容易に**腸閉塞**を起こす可能性があります。
針や串、爪楊枝のような硬く鋭利で長さのある異物は、胃や腸の中でつかえ棒のような状態となり、**嘔吐**を誘発したり腸に**穴をあけてしまう**危険性が高いと考えられます。

注意



重要!

ワンちゃんですら中毒を起こしうる最も身近な食品のひとつに**チョコレート**があります。チョコレートのカカオに含まれる**テオブロミン**や**カフェイン**といった成分を原因として、**嘔吐**や**下痢**、水をよく飲むといった初期症状から過剰な興奮、不整脈、**ふるえ**、重度であれば**昏睡状態**に陥ることがあります。
タマネギや**ニンニク**といった**ネギ類**は血中の赤血球を破壊し、重度の**貧血**を起こす可能性があります。ネギ中毒は摂取した食品が**過熱調理**されていても**発生**する為、煮汁などでも注意が必要です。

< さいごに >



今回ご紹介した異物はほんの一部に過ぎず、種類も症状も様々です。誤飲・誤食を発生させないためには、異物をワンちゃんネコちゃんの生活環境から極力排除する事が重要です。散歩などでなんでも口にしてしまう癖のあるわんちゃんは特に注意しましょう。しかし、いくら注意していても発生してしまうことはあります。もし誤食した・誤食した疑いのある場合は早めの来院をお願い致します。



秋の健康診断のお知らせ



今年も秋の健康診断キャンペーンを行います！

スタンダードとプレミアムの2コースがあり、3歳以上はスタンダード、7歳以上はプレミアムコースをオススメしています。

半年以上検査を行っていないわんちゃんねこちゃんには特にオススメです。ぜひご検討下さい！

期間：9/1～11/30(8/1～予約受付中！)

